



2022年12月12日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループCEO 阿部 修平
(コード 8739 東証プライム市場)

「未来創生3号ファンド」
ラストワンマイル物流のルート最適化サービス「Loogia(ルージア)」の開発、提供を行う
株式会社オプティマインドへの投資実行
—多様で複雑化する配送ニーズにルート最適化 AI で支援—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2021年10月に設立された「未来創生3号ファンド」が、株式会社オプティマインド（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：松下健。以下、オプティマインド社と表記）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。オプティマインド社は今回の調達資金を活用し、「Loogia」の機能・サービス拡張、およびその体制を実現するための人材拡充を行います。

■投資先企業の概要

オプティマインド社は、配送業務の持続可能性の実現を目指し、組合せ最適化アルゴリズムを用いて配送業務の効率化に貢献してきたラストワンマイル物流のルート最適化に特化した名古屋大学発のスタートアップです。オプティマインド社は2019年1月に「Loogia」をローンチして以来、ラストワンマイルの配送事業者が直面する深刻なドライバー不足や労働環境の改善、および配送業務の効率化を促進し、ルート最適化 AI を活用した配送業務の持続可能性の実現に取り組んできました。今後、「Loogia」を通して配送業界が抱える課題解決を目指し、日本のみならず世界のラストワンマイルのルート最適化のインフラ構築を目指します。

■「未来創生（1号）ファンド」、「未来創生2号ファンド」および「未来創生3号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生2号ファンドの運用を開始しました。そして、2021年10月から未来創生2号ファンドの5分野に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社をファンド運営者とした未来創生3号ファンドの運用を開始しました。2022年11月末時点の運用資産残高は、1号、2号および3号をあわせて、1,531億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com